

# “美しい村もとやま”の住民のまちづくり

## 概要

本山町の棚田や清流汗見川等では注目度も高くなっています。しかし、棚田や清流汗見川で開催される体験交流イベント等の集客は十分な内容ではなく、取り組みの魅力を感じるものの、その魅力を地域内外に十分に発信できていない状況で、本山町全体の魅力をしっかりと発信できる仕組みづくりが必要となっています。

高知県本山町



## 事業の内容

### 事業の内容

地域住民と大学生によるフィールドワーク等を行い、住民自らが、地域資源を再確認しながら資源を活用した取り組みを検討し実践を行った。以前は商店街として栄え、地域内外の多くの人々が集い、そこから情報の収集や発信が行われていた市街地を地域の住民自らが再生と活用を目指す活動が推進された。継続する着地型観光の仕組みづくりを行った。

### 総事業費

10.2百万円

### ポイント

- 地域資源活用で、外部から視点(学生、地域おこし協力隊)と地域の協働で実践
- 各種団体(観光協会、農業公社、個人等)の参加で着地型観光の推進体制の確立
- 地域で景観づくり植樹計画、移住者とまちかつ交流事業など継続する仕組み確立



## 事業の成果

- ・大学連携と地域協働 景観づくり植樹 100本 地元ほか50人参加
  - ・農山村交流事業 ①お山の手づくり市開催1,200人超来場者 ②観月会250人超
  - ・着地型観光 ①棚田オーナー制度 ②美しい村もとやまパンフ3,000部配布
- 次年度以降も地域づくり事業は継続、町内での体験型観光への取り組み機運が高まった。  
人・施設・文化・歴史など地域の資源を活用して、各種団体や地域おこし協力隊、移住者など連携して“まちなか”の賑わいづくり、連携づくりが進んだ。